学校番号	3029

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	3 単位	年次	1 年次
使用教科書	言語文化（数研出版）						
副教材等	3 ステップオリジナル問題集新成古典（尚文出版）、十訂版　読解をたいせつにする体系古典文法（数研出版）、重要な句形と語彙を学ぶ　精選漢文（尚文出版）、トータルサポート　新国語便覧（大修館書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「古典は役に立つのか」、「文学作品を読んで何の意味があるのか」という声が聞こえてくるのは実用実学を偏重しているからだろう。古典は、偉大な先達の、歴史の波に揉まれながらも残った素晴らしい言葉である。古典を味わうということは何百年、何千年前の人々の思いを読み解くことであり、それは「人間とは何か」を考える手掛かりとなる。実用的でなくとも、何にも代えがたい価値がある。難解だと思わずにどんな作品にも挑戦してほしい。

古典ではまず「読める」ようになることが肝要である。基本的な文法事項や重要単語、句形を確実に習得しよう。またノートに本文を写し、音読、現代語訳をしてみて「何がわからないか」を明らかにしてから授業に臨むこと。予習した状態で授業を受け、さらに復習をする。そのようにして自力で作品を読み解くことができる力を身に付けていこう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（1）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（2）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（3）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

期間	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	古文・漢文入門 ［教材］ 「絵仏師良秀」 「論語」 古典問題集・体系古典文法・精選漢文・国語便覧	a：常用漢字や古文・漢文で使用される語彙の知識を増やし、文化的背景や表現技法について理解している。 b［ 読 ］: 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。文章の構成や展開、表現の仕方や特色について評価している。 c：積極的に言語活動を行い、考えを深めようとしているとともに、言語感覚を磨こうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	ワークシート等の提出物
前期期末考査まで	古文・漢文を味わう。和歌に触れ、学ぶ。 ［教材］ 「東下り」 「筒井筒」 「雑説」 古典問題集・体系古典文法・精選漢文・国語便覧	a：常用漢字や古文・漢文で使用される語彙の知識を増やし、各作品の文化的背景や表現技法について理解している。 b［ 読 ］: 作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に言語活動を行い、考えを深めようとしているとともに、言語感覚を磨こうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	ワークシート等の提出物
後期中間考査まで	平安貴族社会の生活の一端に触れる。漢文の句法を実際の文章を通して身につける。 ［教材］ 「ある人、弓射ることを習ふに」 「門出」 「帰京」 「先従隗始」 「鶏口牛後」 小倉百人一首（鑑賞と発表） 古典問題集・体系古典文法・精選漢文・国語便覧	a：常用漢字や古文・漢文で使用される語句の量を増やし、文化的背景や表現技法について理解している。 b［ 書 ］: 自分の伝えたいことや感じたことを明確にし、適切に表現するために工夫をしている。 b［ 読 ］:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：積極的に言語活動を行い、考えを深めようとしているとともに、言語感覚を磨こうとしている。	小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート等の提出物 発表での取り組み
後期期末考査まで	古文の敬語表現を学ぶ。和漢混交文のリズムを味わう。漢詩の規則やリズムを学ぶ。 ［教材］ 「木曽の最期」 漢詩 小倉百人一首（鑑賞と発表） 古典問題集・体系古典文法・精選漢文・国語便覧	a：常用漢字や古文・漢文で使用される語彙の知識を増やし、文化的背景や表現技法について理解している。 b［ 読 ］: 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自分の考えをもっている。 c：積極的に言語活動を行い、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨こうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	ワークシート等の提出物 発表の取り組み

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　９０　）時間